Ａ－２　研究構想図

Ⅲ　研究構想図

学校教育目標

たしかな学びと豊かな心をもつ児童の育成

よく考える子　仲よくする子　心身共にたくましい子

研究主題

『知識や技能を身に付け、生活や学習に活かす子の育成』

副題「自分の考えを持ち、たがいに学び合う活動を通して」

目指す児童の姿

自分の考えを持ち、相手にわかるように伝えようとする子

研究の両輪

「活用力」を向上させる取り組み

研究仮説１

既習を生かし、自分の考えをまとめ、伝え合う場を授業に取り入れれば、思考力・判断力・表現力が向上するだろう。

具体的な方策

・既習を生かした授業展開
・「書く」取り組みの充実
・授業改善（ＰＩＳＡ型読解力向上の授業改善の７つの視点を授業に取り入れる）
・理由や根拠を示しながら意見を述べる活動（グラフ・図・表）
・「Ｂ問題」的な問題に触れる機会の充実（月曜６限ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟの時間）

児童の実態

相互作用

知識・技能を身に付ける取り組み

研究仮説２

学習習慣が定着し、基礎・基本が定着すれば、意欲的・主体的に学習に取り組むようになるだろう。

具体的な方策

・家庭学習「２０・４０・６０運動」
・掲示物を通した知識の定着
・朝読書の充実（文字の本を読もう）
・大屋っ子チャレンジテストの工夫
・習熟度別プリントの利用
・大屋小学校「みんなの持ち物表」
・全校で統一した話型の定着